

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	尾藤 何時夢	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	橈骨近位端部骨折①		配布資料	各自で前学年次の総合的な振返りを行うことが必要である。	
	各コマに おける 授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序				
第2回	授業を 通じての 到達目標	橈骨近位端部骨折②		配布資料	振返りから、目標を選定する為に現状把握が必要である。	
	各コマに おける 授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、 整復法、固定法、後療法				
第3回	授業を 通じての 到達目標	肘頭骨折①		配布資料	前学年時に履修した各科目の内容確認が必要となる。	
	各コマに おける 授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序				
第4回	授業を 通じての 到達目標	肘頭骨折②		配布資料	学年時における履修内容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、 整復法、固定法、後療法				
第5回	授業を 通じての 到達目標	モンテギア骨折①		配布資料	各テキストの確認を行なう。	
	各コマに おける 授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	モンテギア骨折②	配布資料	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕両骨骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	前腕両骨骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折(牽引直圧法①)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折(牽引直圧法②)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折(屈曲整復法)①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折(屈曲整復法)②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	コーレス骨折(屈曲整復法)③	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	整復法、固定法、後療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	橈骨遠位端骨端線離開①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	橈骨遠位端骨端線離開②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	尾藤 何時夢	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
上肢骨折の概要、整復法、固定法、後療法について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
毎回の講義後、配布プリントとノートを見直しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	スミス骨折①		配布資料 柔道整復学・理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて解剖学 の教科書確認が必要と なる。	
	各コマに おける 授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	スミス骨折②		配布資料 柔道整復学・理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。	
	各コマに おける 授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、 整復法、固定法、後療法				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	舟状骨骨折①		配布資料 柔道整復学・理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。	
	各コマに おける 授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	舟状骨骨折②		配布資料 柔道整復学・理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。	
	各コマに おける 授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、 整復法、固定法、後療法				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	中手骨頸部骨折①		配布資料 柔道整復学・理 論編改訂第6版 (全国柔道整復 学校協会監修教 科書)	テキストの確認を行な う。必要に応じて実技編 の教科書確認が必要と なる。	
	各コマに おける 授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	中手骨頸部骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	中手骨骨幹部骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	中手骨骨幹部骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	ベネット骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	ベネット骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	基節骨骨幹部骨折①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	基節骨骨幹部骨折②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	中節骨骨折(頸部骨折)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序、転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	中節骨骨折(骨幹部骨折)	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	概説、分類、好発年齢、発生機序、転位と変形、類症鑑別、固定法、後療法、整復法、固定法、後療法		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	総復習		